

ExtensisTM PortfolioTM 6

Portfolio ブラウザの使用
Macintosh[®] および Windows[®] 用

目次

Portfolio ブラウザへようこそ	1
カタログを開く	2
カタログ表示オプション	3
カタログ、ギャラリー、および ビューウインドウ	5
ギャラリービューのカスタマイズ	7
ファイルのプレビューと編集	11
ファイルに関する情報の取得	12
ファイルの編集およびコピー	13
印刷	14
その他のプログラムのアイテムの使用	15
ファイルの検索	16
複数のカタログの検索	19
検索条件オプション	21
レコードの並べ替え	23
ギャラリーウインドウの整理	23
ファイルの電子メール送信	24
スライドショー	25
DigiMarc 透かしの使用	26

Portfolio ブラウザへようこそ

Portfolio ブラウザは、Portfolio 6 でカタログ化した画像とその他のファイルから構成される大きなコレクションを簡単にブラウズ、プレビュー、および検索できるように設計された無償のプログラムです。

Portfolio 6 は、Extensis が提供する、定評のあるデジタル資産管理プログラムです。Portfolio ブラウザは一般的に画像コレクション（通常は CD）とともに配布され、画像の検索および表示を容易に行えるようにします。このユーザーガイドは、Portfolio ブラウザのコピーを最大限利用する方法について、簡単に説明します。

Portfolio とは？

Extensis Portfolio は、個人やワークグループがファイルを整理し、必要なものを見つけ、電子メール、CD、ディスク、または Web を通じてそれらを配布する作業をできるだけ簡単にすることを目的として設計されています。このプログラムは、同時に何千、何十万のファイル进行处理できるように設計されているので、個人でも、大きなワークグループでも、ファイルを常に整理された状態に保つことができます。

Portfolio のフルバージョンを使用すると、デジタルカメラからダウンロードしたファイルを自動的にコピーしてその名前を変更したり、キーワードやその他のカスタム情報を使用してファイルをカテゴリ別に分類したり、スライドショーの作成や、画像から Web ページを作成することが可能になります。また、Portfolio のビジュアル カタログの中からディスクのファイルをコピー、移動、および削除するための強力なファイル管理ツールも含まれています。

Portfolio 6 のフルバージョンについては、www.extensis.com/portfolio/ を参照してください。

Portfolio ブラウザとは？

Portfolio ブラウザは、読み込み専用のバージョンの Portfolio (無償) です。Portfolio ブラウザを使用しても、Portfolio カタログからアイテムを追加または削除したり、キーワードや、カタログのアイテムに関連付けられているその他の「メタデータ」（説明や著作権情報など）を追加または削除することはできません。ただし、Portfolio のプレビュー機能と検索機能へのフルアクセスは提供されます。Portfolio を使用すると、画像のカタログを通して必要なものを簡単に検索できます。Portfolio ブラウザのコピーでは、以下を実行することが可能です。

- カスタマイズされたさまざまな異なるビューでカタログを表示して、カタログで使用されるフォント、背景色、およびフレームを変更する。
- 各ファイルに関して保存された詳細情報を表示する。
- カタログ化されたファイルのコピーを Portfolio ブラウザ内から電子メールで送信する。
- カタログ内で特定のアイテムを検索する。
- アイテムの作成に使用したプログラムを起動せずにそれらのアイテムをプレビューする。Portfolio では、ほとんどの画像形式のほかに、QuickTime ムービー、MP3 オーディオファイル、Microsoft PowerPoint ファイル、およびその他多種のドキュメントを開いてプレビューできます。
- およびその他多種のドキュメントを開いてプレビューできます。
- カタログ化された画像のプレゼンテーションスタイルのスライドショーを表示する。
- カタログ化された画像に埋め込まれている Digimarc 透かしを読み込む。

Portfolio ブラウザを使用する場合、Portfolio のフルバージョンに装備された多くの機能が表示されていても、操作不能な

場合があります。つまり、通常は Portfolio カタログからアイテムを追加または削除したり、Portfolio カタログに保存されたアイテムに関する情報を変更できるようにするコマンドは、ここでは使用できません。

Portfolio ブラウザを使用してカタログを開く

ブラウザを使用してカタログを開くには、いくつかの方法があります。

- Finder または Windows エクスプローラからカタログファイル (.fdb ファイル拡張子が付けられたもの) をダブルクリックする。すると、Portfolio ブラウザが自動的に起動します。
- 「ファイル」 > 「カタログを開く」を選択してから、「開く」ダイアログボックスで該当するカタログファイルを選択します。



- Portfolio の「ファイル」メニューにある最近開いたカタログのリストを使用する (Windows バージョンのみ)。最近開いたカタログは「ファイル」メニューの「印刷」コマンドのすぐ下に表示されます。標準の「開く」コマンドを使用せずにリストされている任意のカタログを選択して開くことができます。
- 「カタログ」パレットが表示されている場合、「開く」ボタンをクリックし (「ウイン

ドウ」 > 「カタログを表示」)、パレットのフライアウトメニューで「開く」コマンドを選択するか、フライアウトメニューから最近使用したカタログを選択することができます。

カタログ表示オプション

Portfolio ブラウザの強力な機能の 1 つは、さまざまな異なるビューでファイル表示できることです。大きいサムネールや小さいサムネールを表示したり、カタログ化された画像のテキストベースのリストを表示することができます。多くのファイルの詳細情報または基本情報だけを表示するビューを作成することもできます。また、ギャラリーウィンドウのフォント、背景色、およびその他の属性を変更して、カタログを好みの表示形式やスタイルに設定することもできます。

この節では、希望どおりにスタイルが設定されたカタログを表示するために、Portfolio 環境を完全にカスタマイズする方法について説明します。

Portfolio 環境のカスタマイズ

Portfolio はプログラムのメイン コンポーネントを設定し、コントロールする上で多くのオプションを備えた非常に柔軟な作業環境を提供します。ここでは、Portfolio のメインウインドウの各部について説明します。

ツールバー: 「検索」、「情報を見る」 / 「設定」、および「電子メール」など、Portfolio の機能の一部に対するボタンが含まれています。Portfolio の 3 つのメインビュー (サムネール、レコード、およびリスト) の間で切り替えるためには、ツールバーのボタンを使用することもできます。

Portfolio ウィンドウ



Portfolio の多くのアイテムは、ここに示されているようにフローティングパレットに表示できます。「ウィンドウメニュー」を使用してパレットを開き、これらのパレットを組み合わせて画面の作業領域を節約することができます。



「表示」メニューの「ツールバー」コマンドをアクティブまたは非アクティブにすることにより、ツールバーを表示または非表示にすることができます。

クイック検索: ツールバーの最も強力な機能の1つに、「クイック検索」フィールドがあります。「クイック検索」フィールドに文字列を入力してReturnキーを押すだけで、検索可能フィールドの情報に基づいてカタログでアイテムを検索できます。

ステータスバー: PortfolioのWindowsバージョンでは、「表示」メニューの「ステータスバー」をアクティブまたは非アクティブにすることにより、ギャラリーウィンドウの下端に沿ってグレーのステータスバーを表示または非表示にすることができます。Macintoshバージョンでは、ギャラリーウィンドウの下端に沿ってステータスバーは表示されず、対応するコマンドも「表示」メニューにはありません。

組み合わせ可能なパレット

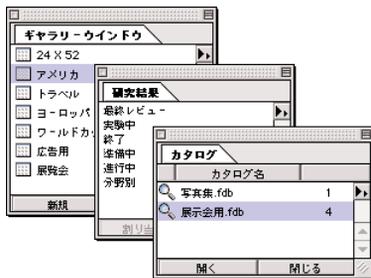
Portfolioでは、組み合わせ可能なパレットのシステムを使用して、Portfolioカタログでの作業時に情報を表示したり、情報にアクセスします。これらの各パレットは、「ウィンドウ」メニューで対応する「表示」または「非表示」コマンドを使用して、表示または非表示にすることができます。使用可能なパレット（およびその対応機能）は以下のとおりです。

カタログ: 現在開いているすべてのカタログのリストを表示し、互いに簡単に切り替えられるようにします。パレットを使用すると、複数のカタログで検索を実行したときに検索されるカタログを指定することもできます。

カテゴリー: このパレットを使用すると、カタログ管理者によって設定されている可能性のある階層カテゴリーに基づいてファイルを検索できます。Portfolioブラウザを使用して、カテゴリーを編集または変更できます。

ギャラリー: 現在開いているカタログ内で保存されたすべてのギャラリーウィンドウのリストを表示します。ギャラリーウィンドウは、カタログ内の特定のレコードを含んだウィンドウです。

マスターキーワード: マスターキーワードリストを使用してキーワードがカタログで定義されている場合は、パレットの「検索」コマンドを使用してキーワードアイテムを検索できます。マスターキーワードがカタログで定義されていない場合でも、「検索」コマンドと「クイック検索」フィールドを使用してキーワードアイテムを検索することができます。



カスタムフィールド: 事前定義された値（価格、部品番号、その他の情報など）のあるカスタムフィールドがPortfolioカタログに含まれている場合、これらの値のリストは、これらの値が含まれているレコードを検索できるパレットとして開くことができます。

これらのパレットを任意に組み合わせると、ここで示されているように、片方をもう一方に重ねてドロップするだけで、単一のタブ付きパレットが形成されます。

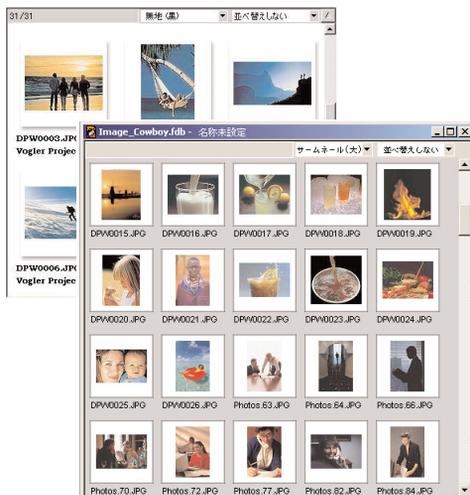


カタログ、ギャラリー、およびビューウィンドウ

Portfolio カatalogのビューをカスタマイズする場合のオプションについて理解するためには、カタログ、ギャラリーウィンドウ、およびビューの関係を把握することが重要です。

カタログは Portfolio を使用してカタログ化されたすべてのアイテムを含むデータベース全体です。これらのアイテムは、同時にすべて表示したり、検索または選択に基づいてアイテムのサブセットを表示することができます。Portfolio では、ご使用のコンピュータのメモリに応じて、好きなだけカタログを開くことができます。また、同時に複数のカタログのコンテンツを検索することもできます。

Portfolio の個別のウィンドウは、ギャラリーと呼ばれます。ギャラリーにはカタログのす



同じ Portfolio カatalogの2つのビュー。サムネールサイズ、フレーム、フォント、背景色、およびフィールドは、同じファイルを異なるビューで表示する2つのギャラリーウィンドウを作成するために変更されています。

べてのアイテムまたはサブセットが表示されます。たとえば、カタログに5000個の画像があるとします。Portfolioの検索ツールの1つを使用して、キーワード「Ocean」でタグ付けされたすべての画像を検索した結果、一致した画像が135個見つかりました。この場合、カタログには5000個の画像がありますが、ギャラリーウィンドウには135個の画像が含まれます。

Portfolioを使用すると、同時に複数のギャラリーウィンドウを開いたり、表示することができます。各ギャラリーウィンドウは、画像のカタログへの個々のウィンドウまたはビューです。ただし、Portfolioブラウザでは、ギャラリーウィンドウを保存できません。各ギャラリーウィンドウの中で、ビューもカスタマイズできます。

ビューはギャラリーウィンドウのスタイルを決める背景の色、フォント、フォントの色、サムネールサイズ、グリッド間隔、およびフィールドデータなどの属性の組み合わせです。これらの属性は、すべて「ギャラリーウィンドウのカスタマイズ」コマンドを使用して変更できます。

サムネール、レコード、およびリストビュー

Portfolioで使用可能なビューにはメインの「タイプ」が3つあり、それぞれをカスタマイズして固有のカスタムビューを好きなだけ作成することができます。



サムネールビュー

Portfolioにおけるデフォルトのビューであるサムネールビューでは、このページの左列にある図で示されているように、小さいサムネールサイズのプレビューの調節可能なグリッドに、カタログ化されたアイテムが表示されます。各サムネールの下には、カタログ化された各アイテムについての情報が表示されます。

サムネールビューには、ツールバーの「サムネール表示」ボタン  をクリックする

か、⌘-T (Mac) または Control-T (Windows) を押して切り替えることができます。デフォルトでは、各アイテムのファイル名だけがサムネイルビューに表示されますが、サムネイルの下に「任意」の Portfolio フィールドのコンテンツが表示されるよう選択することができます。「ギャラリーウィンドウのカスタマイズ」コマンドを使用すると、4つの異なるサイズのサムネイルから選択したり、フィールドデータを表示するために使用されるフォント、サイズ、および表示形式を選択することもできます。このカスタマイズを実行する場合の詳細については、7ページの「ギャラリービューのカスタマイズ」を参照してください。



リストビュー

リストビューでは、Portfolio カタログに保存した情報がスプレッドシートスタイルのリスト形式で表示されます。デフォルトでは、ファイルサイズやタイプ、変更、ボリュームなどのフィールドがリストされますが、このセットのフィールドは、「ギャラリーウィンドウのカスタマイズ」コマンドを使用して変更でき、リストの列に表示するフィールド情報を正確に指定できます。

リストビューでは、現在選択されているレコードのサムネイルのほかに、関連付けられているキーワードと説明も含んだパネルが、ギャラリーウィンドウの下部に表示されます。

リストビューには、メインツールバーの「リスト表示」ボタン  をクリックするか、⌘-L (Mac) または Ctrl-L (Windows) を押して切り替えることができます。



レコードビュー

レコードビューでは、カタログ化された各アイテムを、関連付けられている保存データとともに表示できます。このビューでは、たとえば、ファイルに関連付けられているすべてのキーワードのリストを表示したり、入力したほかのカスタムフィールドデータとあわせて、説明全体を表示することができます。



「レコード表示」は、各アイテムの設定を一度に1つずつ開いて表示せずに、レコードのセットに関する多くの詳細にアクセスする場合に選択します。レコード表示のフォント、色、サムネイルサイズなどは、次のページの「ギャラリービューのカスタマイズ」で説明されているように、カスタマイズすることができます。

レコードビューには、メインツールバーの「レコード表示」ボタンをクリックするか、⌘-R (Mac) または Control-R (Windows) を押して切り替えることができます。



レコードビューのオプション

Portfolio の3つのメインビュー（サムネイル、レコード、およびリスト）では、たとえば、フォント、文字サイズ、および背景色の変更など、基本的なカスタマイズを行うことができます。ただし、レコードビューにはいくつかの固有のオプションがあり、「表示」>「カスタマイズ」でアクセスできます。

リストで表示: デフォルトでは、一度に1つのレコードしかレコードビューに表示されません。このオプションをオンにすると、Portfolio レコードのスクローリングリストが現れ、各レコードがその独自のセットのフィールドデータとともに表示されます。これにより、レコードを次回ブラウズするときに、レコードを比較して特定のアイテムから移動することが簡単になります。

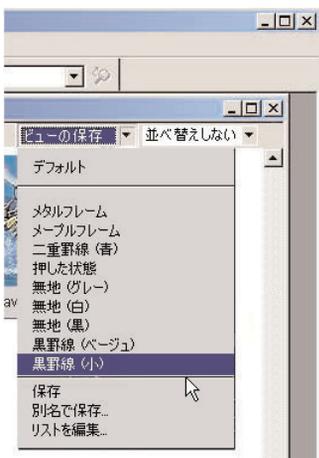
フィールド名を表示: レコードビューで使用する各フィールドの名前が表示されます。このオプションはデフォルトでオンになりますが、オフにすると、レコードビューが視覚的にコンパクトになります。

保存されたビューの使用

Portfolio ブラウザで開くカタログには、フォント、色、フレームなどがカスタマイズされている保存されたビューが含まれる場合があります。

保存されたビューを適用するには、以下の方法に従ってください。

1 ここで表示されているように、「ビューの保存」メニューからビューを名前を選択します。



ギャラリービューのカスタマイズ
サムネイルビュー、リストビュー、およびレコードビューをカスタマイズするには、「表示」>「カスタマイズ」(Mac の場合は ⌘-D、Windows の場合は Control-D) または「ギャラリーウィンドウ」>「ギャラリーウィンドウのカスタマイズ」を選択して、「ギャラリーウィンドウのカスタマイズ」ダイアログボックスを開きます。

「サムネイル」、「リスト」、および「レコード」タブの間で切り替えて、3 種類のビューをカスタマイズします



次に説明されているようにサムネイル、フォント、背景色、フレーム、および間隔をカスタマイズして、Portfolio の各ビューを固有な表示形式に設定することができます。

タイプ

Macintosh では、現在のギャラリーウィンドウ内に表示されるすべてのテキストフィールドに表示形式を適用するには、フォント、サイズ、およびスタイルのポップアップメニューを使用します。Windows では、「フォント」ボタンをクリックした後、標準の「フォント」ダイアログボックスでフォント、フォントスタイル、サイズ、およびエフェクトのリストを使用して、希望の表示形式を選択します。このダイアログボックスではフォント色を選択しないでください。フォント色は、「ギャラリーウィンドウのカスタマイズ」ダイアログボックスの「文字色」ドロップダウンメニューを使用して設定します。



フォント、サイズ、およびスタイルはそれぞれ1つずつ選択するだけで、ビューに表示されるすべてのフィールドテキストに対し希望の表示形式が適用されます。

サムネールサイズ (サムネールビューとレコードビューの場合にのみ使用可能)

32x32 ~ 256x256 ピクセルまでの範囲で、4つの異なる標準サイズから選択します。Portfolio では、ファイルがカタログ化されたときに作成されたものよりも大きいサムネールを表示することはできません。

フレーム (サムネールビューとレコードビューの場合にのみ使用可能)

各サムネールの周囲にフレームを適用して、Portfolio カタログを固有な表示形式に設定することができます。フレームを適用するには、事前定義されたフレームの1つを「フレーム」メニューから選択します。

背景色

現在の Portfolio ギャラリーウィンドウに対して背景色を選択するには、このコントロールを使用します。

Mac: 「背景色」部分をクリックして Mac の標準のカラーピッカーを開き、希望の色を選択します。その後、「OK」をクリックします。

Windows: 事前定義された色の1つを「背景色」ドロップダウンメニューから選択するか、メニューから「その他」を選択し Window の標準のカラーピッカーを使用して新しい色を定義し、「OK」をクリックします。

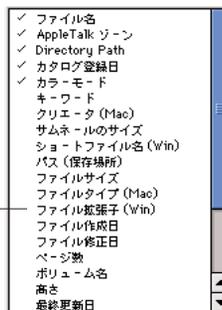
フィールド

3種類のビュー (サムネール、リスト、およびレコード) において、画面に表示されるデータフィールドを正確に選択することができます。また、これらのフィールドが表示される「順番」を決定することもできます。「ギャラリーウィンドウのカスタマイズ」ダイアログボックスにあるフィールドのスクロールリストから、ビューに含めたいフィールドを単に選択してください。

フィールドを表示または非表示にするには、以下の方法に従ってください。

「ギャラリーウィンドウのカスタマイズ」ダイアログボックスの「フィールド」リストで、表示するフィールドを選択します。すると、各フィールド名の左側にチェックマークが付き、そのフィールドがアクティブになっていることを示します。フィールドのオン/オフを切り替えるには、チェックマークをクリックします。

現在のビューに表示するフィールドの隣にチェックマークを付けます



フィールドをリスト内で上下にドラッグして、ギャラリーウィンドウでの順番を変更します

フィールドの順番を変更するには、以下の方法に従ってください。

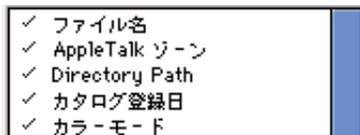
希望の順番になるよう、「フィールドギャラリー」リストでフィールド名をドラッグします。

複数行フィールドの表示の制御

複数行フィールドの表示の制御「説明」や「キーワード」などのフィールドは、複数行のテキストから構成される場合があります。「レコード」ビューをカスタマイズするとき、

スクロールしないで画面に表示されるテキストの行数を制御することができます。

このようなフィールドに対し、レコードビューに表示される行の数は、次の図で示されているように、「ギャラリーウインドウのカスタマイズ」ダイアログボックスに「フィールド」リストの右側に表示されます。



各フィールドに対して表示される行数を変更するには、以下の方法に従ってください。

Macintosh: 各フィールドで数をクリックし、ポップアップメニューを表示します。表示する行数を 1 ~ 20 までの範囲で選択します。

Windows: 各フィールドで数をクリックし、「行数の設定」ダイアログボックスを開きます。表示する行数を入力して、「OK」をクリックします。

間隔 (サムネールビューの場合のみ)

この設定では、サムネール間のグリッド間隔 (ピクセル単位) が制御されます。デフォルトは 5 ピクセルです。0 ~ 99 までの範囲の数字を使用して、グリッドを狭めたり広げたりすることができます。

起動時に開くカタログの設定

Portfolio が起動されるたびに自動的に開くカタログを 1 つまたは複数設定することができます。

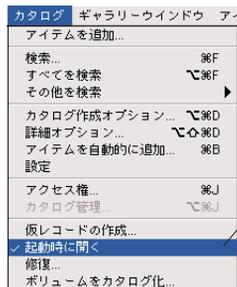
起動時に開くカタログを設定するには、以下の方法に従ってください。

1 カatalogが開いている状態で、「カタログ」>「起動時に開く」を選択します。

--または--

2 カatalogパレットを開きます (「ウインドウ」>「カタログを表示」を選択)。リストでカタログをハイライトした後、パレットフライアウトメニューから「起動時にカタログを開く」を選択します。

チェックマークがメニューコマンドの横に現れ、Portfolio が起動されると自動的にこのカタログが開かれることを示します。さまざまな Portfolio カatalogでこの設定をオンにすることにより、Portfolio が起動されるたびに複数のカタログが自動的に開かれるよう設定できます。起動時にカタログが開かれないようにするには、「起動時にカタログを開く」コマンドをもう一度選択して、チェックマークを外します。



このコマンドをオンに切り替え (チェックマークを表示)、Portfolio の起動時にカタログが開かれるよう設定します

カタログが開かれたままの状態になるよう設定

Portfolio カatalogは、通常、そのギャラリーウインドウをすべて閉じると、カタログ自体も自動的に閉じられます。しかし、ギャラリーウインドウがすべて閉じられても、カタログが開かれたままの状態になるよう強制的に設定することができます。これによって、ギャラリーウインドウを開いたまま複数のカタログを通して検索できるようになります。

カタログを永久的に開いたままにするには、以下の方法に従ってください。

1 カatalogパレットを開きます (「ウインドウ」>「カタログを表示」を選択)。

2 希望のカタログをハイライトします。

3 カタログパレットフライアウトメニューから「カタログを開いたままにする」を選択します。

デフォルト設定の復元

「ギャラリーウィンドウのカスタマイズ」ダイアログボックスの「デフォルト設定」ボタンをクリックして、現在のビュー設定をPortfolioでデフォルトとして元々設定されていたものにいつでも復元することができます。

カタログ設定

カタログに関する一般情報と統計は、「カタログ」>「設定」を選択して「カタログ設定」ダイアログボックスを開くことによって表示できます。ここでは、「カタログ設定」ダイアログボックスで実行できる内容について説明します。

- カタログにあるアイテムの合計数、使用されるキーワードの合計数、ディスクにおけるカタログサイズ、作成日などの詳細を取得する。
- ディスク上のカタログファイルへのパスを表示したりコピーする。
- カタログで使用されるすべてのキーワードを、その頻度とともに表示する。



これを行うには、「統計」タブをクリックした後で「計算」ボタンをクリックします。すると、Portfolioでは、各キーワードがリ

ストされ、各キーワードが割り当てられているカタログ化されたアイテムの数が表示されます。

- ドキュメントで使用されるすべてのキーワードをテキストファイルに保存する。まず、「計算」ボタンをクリックして、キーワードリストを作成します。次に、「キーワード書き出し」をクリックして、そのリストをテキストファイルとして保存します。

カタログ化されたファイルでの作業

Portfolio ブラウザでは、作業内容を表示、整理、および管理しやすくする多くのツールを自由に利用できます。この章では、以下のタスクを処理するための Portfolio の使用方法について説明します。

- 画像、オーディオクリップとビデオクリップ、およびその他のドキュメントをプレビューする。
- 各ファイルに関する詳細情報を取得する。
- オリジナルファイルを編集する (使用可能な場合)。

ファイルのプレビューと編集

Portfolio では、ほとんどの画像、ムービー、およびサウンドファイルを直接開いて、カタログ化されたアイテムをすばやくプレビューできます。このため、アイテムを表示するために、それらの作成に使用されたプログラムを起動しなくて済みます。

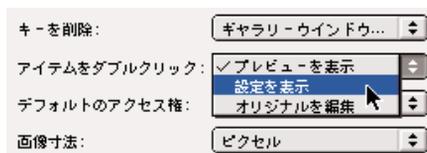
 ファイルタイプによっては、プレビューすることができません。Portfolio でファイルをプレビューできない場合は、そのファイルが作成されたプログラムを使用してファイルを表示するかどうかを尋ねるダイアログボックスが表示されます。

アイテムをプレビューするには、以下の方法に従ってください。

- ギャラリーウィンドウでサムネールをダブルクリックします。
- リストビューでリストされているアイテムをダブルクリックします。
- アイテムを選択した後、⌘-Option-I (Mac) または Ctrl-Alt-I (Windows) を押しします。
- 「アイテム設定」ウィンドウでサムネールをダブルクリックします。
- サムネールを Ctrl キーを押しながらクリックするか (Mac) または右クリック (Windows) して、ポップアップメニューか

ら「オリジナルをプレビュー」コマンドを選択します。

 サムネールをダブルクリックすると、Portfolio では、デフォルトでファイルがプレビューされますが、「初期設定」ダイアログボックスでこのデフォルト動作を変更することによって、ダブルクリックすると代わりに「アイテム設定」ウィンドウが表示されるようにしたり、オリジナルファイルが編集されるよう設定できます。「編集」>「初期設定」を選択し、最初のポップアップメニューでダブルクリックの結果を「プレビューを表示」、「設定を表示」、または「オリジナルを編集」に設定します。



「ディスクのプレビュー」オプションを使用してアイテムがカタログ化されていないかぎり、Portfolio では、プレビューするためにファイルを検索できます。カタログ化されたオリジナルファイルが見つからない場合、Portfolio では、見つからないファイルの検索を求めるダイアログボックスが表示されます。カタログ化されたファイルが CD-ROM などのリムーバブルディスク上にあった場合、Portfolio では、見つからないディスクの挿入を求めるダイアログボックスが表示されます。

「プレビュー」ウィンドウ

「プレビュー」ウィンドウには、画像を拡大表示、縮小表示、および「プレビュー」ウィンドウのサイズに合わせて表示できるようにするボタンがあります。

また、PowerPoint ドキュメントや PDF ファイルなど、複数ページのドキュメントをプレビューする場合は、ドキュメント内でページ間を移動できるようにする標準のナビゲーションボタンを「プレビュー」ウィンドウで使用できます。



オーディオ/ビデオファイルのプレビュー

オーディオまたはビデオファイルをプレビューする場合、QuickTime の標準のコントロールバーが「プレビュー」ウィンドウに表示され、オーディオやビデオのコンテンツを再生できます。デフォルトでは、「プレビュー」ウィンドウを開くと自動的に再生が開始します。

プレビュー時にオーディオおよびビデオファイルが自動的に「再生されない」ようにするには、「編集」>「初期設定」を選択して、「一般」初期設定パネルの「ムービーとサウンドを自動再生」オプションをオフにします。

ファイルに関する情報の取得

Portfolio では、カタログ化するすべてのファイルに関して非常に詳しい情報が保存されます。この情報には、各ファイルの作成日、ファイルサイズ、画像単位、ファイルタイプなど、カタログ化中に Portfolio 自体によって収集されるデータが含まれます。また、説明、キーワード、その他のデータ

など、Portfolio レコードに追加されている可能性のある情報も含まれます。

これらの情報は、すべて「情報を見る」/「設定」ウィンドウで参照できます。「アイテム設定」を開くには、サムネールを選択して、ツールバーの「情報を見る」/「設定」ボタンをクリックするか、 ⌘-I (Mac) または Alt-Enter (Windows) を押します。「一般」、「キーワード」、および「フィールド」タブの間で切り替えて、各ファイルの詳細を表示します。



💡 サムネールをダブルクリックするとデフォルトで「アイテム設定」が開かれるようにするには、「編集」>「初期設定」を選択し、「一般」パネルで「ダブルクリック」アイテム設定を「設定を表示」に設定します。

「アイテム設定」のナビゲーションボタン

「アイテム設定」ウィンドウの下部にある 4 つのナビゲーションボタン（「最初」、「次」、「前」、および「最後」）を使用すると、各アイテムに関する情報を連続して取得できるよう、カタログ内のアイテムを順番にナビゲートできます。これにより、「アイテム設定」ウィンドウを開いたり閉じたりせずに、一連のアイテムに関する情報にアクセスできるようになります。

「アイテム設定」のナビゲーションボタン
(Windows)



「アイテム設定」のナビゲーションボタン
(Mac)

以下のキーボードショートカットを使用して、「アイテム設定」でレコード間をナビゲートすることもできます。

動作および使用するショートカット

次のアイテムに移動

Windows: Control-→
Mac: ⌘-→

前のアイテムに移動

Windows: Control-←
Mac: ⌘-←

切り替え「一般」、「キーワード」、および「フィールド」タブ

Control-Tab



「アイテム設定」を開いたときに現在のギャラリーウィンドウでレコードが選択されていない場合、ナビゲーションボタン（およびキーボードショートカット）を使用して、ギャラリーウィンドウのすべてのレコード間を移動できます。特定のサムネールが選択されている場合は、ボタンとショートカットを使用して、選択されたアイテム間でのみナビゲートできます。

オリジナルファイルの編集 およびコピー

カタログ化されたファイルを編集するために、Portfolio からはその他のプログラムに直接アクセスすることができます（そのようなファイルが存在する場合）。

ファイルを編集するには、以下の方法に従ってください。

1 任意の Portfolio ギャラリーウィンドウで、編集するアイテムを選択します。

2 「アイテム」>「オリジナル」>「編集」を選択するか、⌘-E (Mac) または Ctrl-E (Windows) を押します。

3 オリジナルファイルの編集に必要なファイルが起動され、そのプログラムでファイルが開かれます。

通常は、特定のタイプのファイルを編集するために最後に使用したプログラムの名前と場所が Portfolio で記憶されています。必要な場合（特定のタイプのファイルを初めて編集する場合など）は、アプリケーションの選択を求めるダイアログボックスが表示されません。ここで選択したアプリケーションは、それ以降 Portfolio で記憶されます。



オリジナルファイルを編集するために Portfolio を頻繁に使用する場合は、サムネールをダブルクリックするとオリジナルがプレビュー用ではなく編集用に開かれるよう、プログラムの初期設定を変更することをお勧めします。「編集」>「初期設定」を選択して、「ダブルクリック」ポップアップメニューを「オリジナルを編集」に設定してください。

ファイルをコピーするには、以下の方法に従ってください。

1 任意の Portfolio ギャラリーウィンドウで、コピーするアイテムを選択します。

2 「アイテム」>「オリジナル」>「コピー」を選択します。

3 ダイアログボックスで、コピーされるアイテムのコピー先フォルダを選択して、「選択」(Mac) または「OK」(Windows) をクリックします。

4 Portfolio では、指定したフォルダに、選択したファイルがコピーされます。オリジナルファイルはそのままの状態になります。

カタログの印刷

ソースファイルを編集、表示、または別のドキュメントで使用するには、通常はカタログアイテムを検索して選択しますが、カタログ自体を印刷して、選択した画像をクライアントに表示したり、ドキュメント内で使用できるようにアイテムを評価することができます。

「ファイル」メニューから「印刷」コマンドを選択すると、アクティブなギャラリーウィンドウのコンテンツが印刷されます。サムネイル、またはカタログアイテムのリストを印刷するには、印刷に含めたいアイテムを選択して、それらをギャラリーウィンドウに配置します。次に、適切なギャラリービュー（サムネイル、リスト、レコード）を選択します。ギャラリービューを希望の表示形式（アイテムの自動並べ替えや手動による並べ替え、フレーム、背景色など）にカスタマイズします。ギャラリーウィンドウが希望の表示形式になったら、「ファイル」>「印刷」を選択します。

印刷オプション

「印刷」ダイアログボックスには、以下のオプションがあります。

ヘッダー/フッター：印刷されたバージョンのギャラリーウィンドウでヘッダーまたはフッターとして表示するテキストを入力します。

余白：ページの余白をインチ単位で設定します。ページの上部、下部、および両側の余白は、デフォルトでは 1.27 センチです。

ページ番号：ページの番号付けをオンまたはオフに設定したり、「開始ページ番号」フィールド（Mac では「開始ページ番号」と呼ばれます）に数値を入力して開始ページ番号を設定できます。

サムネイルのレイアウト：印刷用にレイアウトのグリッドサイズを指定できます。デフォルトは 4x4 で、これは、縦に 4 つ、横に 4 つの、合計 16 個の画像セルがあるページを表します。

☑ ヘッダー サンプル画像
☑ フッター 社内用
☑ 開始ページ番号:
☑ グリッドを使用 4 x 4
印刷対象: 実際の画像
画質: 最高 (遅い)
余白 (センチ) 上: 1.270 下: 1.270
左: 1.270 右: 1.270

 Portfolio では、指定したグリッドに合わせて表示されるよう、サムネイルのサイズが変更されます。小さいグリッド設定 (2x2 など) を使用すると、サムネイルはグリッドに合わせて広がりますが、モザイク表示になる可能性があります。

印刷対象：カタログ内に保存した低解像度のサムネイルだけ（「カタログ内のサムネイル」を選択）、またはフル解像度の画像だけ（「実際の画像」を選択）が Portfolio で印刷されるよう選択することができます。これは、Mac ではポップアップメニューから、Windows ではラジオボタンとして選択できます。

画質：この設定では、画像の印刷時に Portfolio で使用されるデータの高解像度の度合いが決定されます。「最高」設定は、プリンタを集中的に使用するタスクです。プリンタによっては、プリンタにダウンロードされるデータ量をサポートするのに十分なメモリがない場合があります。問題が発生した場合は、「高い」または「標準」設定に切り替えてみてください。

単一画像の印刷

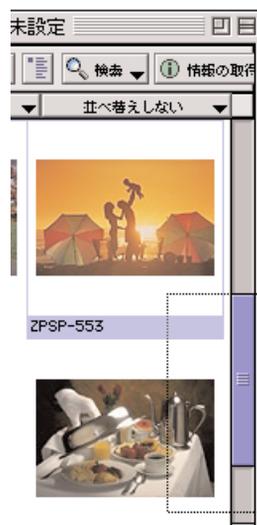
フルサイズの単一画像は、「プレビュー」ウィンドウで「ファイル」>「印刷」を選択して印刷できます。ただし、最高の結果を得るためには、「オリジナルを編集」コマンドを使用して、カタログ化された画像をそのオリジナルアプリケーションで開き、そこから印刷することをお勧めします。

その他のプログラムのアイテムの使用

Portfolio はファイルの管理や整理に最適なツールですが、多くの場合、ほとんどのクリエイティブな作業は Portfolio の外部で行います。Portfolio の外部とは、画像の編集、ドキュメントの作成、プレゼンテーションの作成、印刷用出版物のページレイアウト、Web コンテンツの開発などに使用するその他のプログラムを指します。

Portfolio からほかのアプリケーションへのファイルの移動は、通常、ドラッグアンドドロップで簡単に行うことができます。以下に、Portfolio を使用して、ほかのプログラムで簡単に画像を操作する方法を示します。

- サムネールをドラッグアンドドロップに対応したドキュメント (Macintosh バージョンの Word など) にドラッグして、そのドキュメントに画像のコピーを配置する。
- Adobe Photoshop®、Illustrator®、または Macromedia FreeHand® など、編集用プログラムのエアリアス (またはショートカット) の上にサムネールをドラッグして、そのプログラムで画像を開く。
- サムネールをデスクトップやフォルダウィンドウにドラッグして、その場所にオリジナルファイルを移動する。
- サムネールをデスクトップやフォルダに Option キー (Macintosh) または Ctrl キー (Windows) を押しながらドラッグして、オリジナルファイルを新しい場所にコピーする。



サムネールをドラッグアンドドロップ可能なプログラムにドラッグすると、ドキュメントに画像を配置できます

- サムネールを電子メールメッセージにドラッグして、画像のコピーを添付ファイルとして送信する。
- サムネールを QuarkXPress ドキュメントにドラッグして、QuarkXPress レイアウトにイメージを配置する。サムネールを画像ボックスにドロップするだけで、新しく画像ボックスが作成され画像が取り込まれます。



Portfolio から QuarkXPress® にサムネールをドラッグする場合は、Quark の XTension フォルダにインストールしなければならぬ XTension である QX-Drag & Drop が必要となります。QX-Drag & Drop は、Extensis の Web サイト (www.extensis.com) からダウンロードできます。

Portfolio を使用したファイルの検索

Portfolio の最も重要な機能の 1 つは、必要なときにデジタルファイルを検索して呼び出せることです。画像をカタログ化、キーワード作成、およびカテゴリー分類する理由は、それらの画像をできるだけ簡単に検索して使用するためです。このページでは、必要なときに必要なファイルにすばやくアクセスできるクイック検索を実行するために、Portfolio 内で使用可能なさまざまな強力なツールについて説明します。説明範囲は以下のとおりです。

- ツールバーの「クイック検索」フィールドの使用
- 高度な複数条件検索の実行
- 複数の Portfolio カタログを通じた検索

クイック検索

Portfolio 6 で最も簡単で便利な検索ツールは、ツールバーの右側にある新しい「クイック検索」ボックスです。クイック検索では、「自由に組み合わせたフィールド」の内容に基づいてファイルを検索でき、ボタンをクリックしたり、メニューをプルダウンしたり、「検索」ダイアログボックスを開いたりする必要はありません。これは、最も高速で簡単なファイルの検索方法です。



クイック検索を実行するには、以下の方法に従ってください。

1 「クイック検索」ボックスをクリックします。

2 単語または語句をボックスに入力して、Return キーを押します。

デフォルトでは、「を含む」検索を使用して、ファイル名、説明、およびキーワードのフィールドが検索されます。ただし、カテゴ

リーのクリエイターによって、クイック検索で検索されるフィールドが変更されている場合があります。

3 現在の Portfolio ギャラリーウィンドウに、一致するアイテムが表示されます。



「クイック検索」ボックスに入力したテキストは、Return キーを押して検索を実行した後も、選択されたままの状態になります。別のクイック検索を実行するには、新しく検索する単語または語句を入力して、もう一度 Return キーを押すだけです。

パレットからの検索

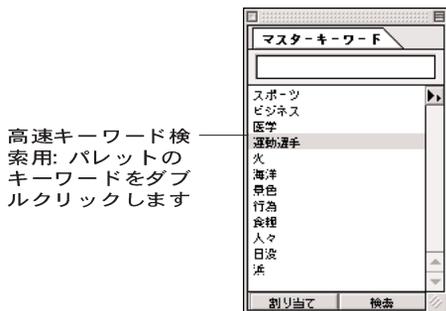
「マスターキーワード」パレットおよびその他の使用可能なカスタムフィールドパレットでは、ダイアログボックスを開かずに単純な検索を簡単に実行できます。

「マスターキーワード」パレットから検索するには、パレットで希望のキーワードを探し、「検索」ボタンをクリックするか、そのキーワードをダブルクリックするだけです。選択したキーワードに一致するアイテムは、すべてアクティブなギャラリーウィンドウに表示されます。



Windows では、「マスターキーワード」パレットで任意の単語を選択し、検索するキーワードの最初の文字を入力して、そのキーワードに直接移動します。Macintosh では、パレットのテキスト入力フィールドに文字を入力して、その文字で始まるエントリにカーソルを移動させます。

カスタムフィールドから作成されたその他のパレットでは、パレットで任意の値をダブルクリックし、その値を含むアイテムをカタログ内で検索します（または、値を選択して、パレットで「検索」ボタンをクリックします）。



高速キーワード検索用: パレットのキーワードをダブルクリックします

「検索」コマンドの使用

ほとんどの Portfolio ユーザーは、「クイック検索」ボックスを使用して実行する単純な複数フィールド検索の機能しか必要ありません。しかし、Portfolio の洗練された検索エンジンでは、複数の条件を使用して複雑な検索を実行することも可能です。複雑な検索は、何度も検索条件を入力しなくても済むよう保存できます。

Portfolio の「検索」コマンドを使用すると、特定の検索パラメータを使用して、任意のフィールドを自由に組み合わせて検索できます。検索結果は、現在のギャラリーウィンドウ (古いコンテンツがある場合は完全に置換されます)、または新しいギャラリーウィンドウに表示できます。

「検索」ウィンドウにアクセスするには、3 とおりの方法があります。

- ツールバーで「検索」ボタン  をクリックする。
- 「カタログ」>「検索」を選択する。
- ⌘-F (Mac) または Ctrl-F (Windows) を押す。

すべてのアイテムの検索

現在のカタログですべてのアイテムをすばやく検索するには、4 とおりの方法があります。

- 「カタログ」>「すべてを表示」を選択する。

- 「検索」ウィンドウを開いて、「すべてを表示」ボタンをクリックする。
- 「検索方法」パレットを開いて、「すべてを表示」ボタンをクリックする。
- ⌘-Option-F (Mac) または Ctrl-Shift-F (Windows) を押す。

特定のアイテムの検索

1 「検索」ウィンドウを開き (前述の 3 つの方法のうちの 1 つを使用して)、「条件」タブが開いていることを確認します。

2 ここで示されているように、「フィールド」メニューから検索フィールドを選択して、検索に使用する条件を選択します。

検索で使用できる属性の説明については、21 ~ 22 ページの表を参照してください。

3 真中のメニューから一致オプションを選択します。



検索するフィールドに基づいて、8 ~ 14 個の異なるオプションが表示されます。

完全一致 (「と一致する」など) または不完全一致 (「含む」、「以外で終わる」など) を検索できます。

4 その他の「検索」のオプションを選択します。

ダイアログボックスにある3つのチェックボックスは、Portfolioによってアイテムが検索される場所と、検索結果の表示方法を決定します。オプションは以下のとおりです。

「ギャラリーウィンドウ内を検索」：このチェックボックスをオンにすると、Portfolioでは、現在のギャラリーウィンドウにあるアイテムのみが検索され、カタログ内のその他のレコードはすべて無視されます。これは、ターゲットファイルに的を絞るために、範囲を非常に狭めて検索を行う場合に便利です。一致するものがないかどうかを確認するために、カタログ内のすべてのアイテムがPortfolioによってスキャンされるようにするには、このオプションのチェックを外したままの状態にしてください。

「新規ギャラリーウィンドウに結果を表示」：検索結果用に新しいウィンドウ（ギャラリーウィンドウ）を作成します。これをオンにしなかった場合、見つかったアイテムは現在のギャラリーウィンドウに表示され、既存のアイテムは新しいアイテムで置換されます。

「複数のカタログを検索」：このオプションは、複数のカタログが開いていない場合、グレー表示になっています。複数のカタログが開いている場合は、これをオンにして、一致したアイテムがないかどうかを確認するために、開いているすべてのカタログがPortfolioによって検索されるよう設定できます。詳細については、この章の後半で説明されている「複数のカタログを通した検索」を参照してください。

5「検索」をクリックして、検索を開始します。

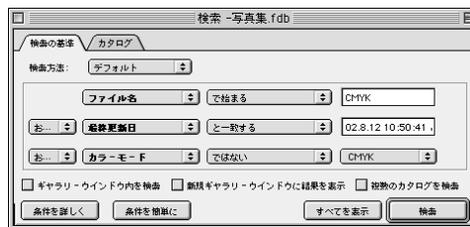
複数の条件を使用した検索（複雑な検索）

「検索」ウィンドウでは、複数の条件（一致するファイルタイプ、作成日、およびキーワードなど）に基づいて、さらに複雑な検索を実行することも可能です。

複雑な検索を実行するには

1「検索」ウィンドウで「条件を詳しく」ボタンをクリックし、追加の条件を含めるためにウィンドウを拡張します。

ウィンドウは、最高5つまでの異なる行の検索条件が含まれるよう拡張できます。



ウィンドウを拡張したら、「条件を簡単に」ボタンをクリックして、単純な検索用にウィンドウを縮小できます。

2 前のページの「特定のアイテムの検索」における手順2～4で説明されているとおりに、検索条件を設定します。

3 各検索行に対し、必要に応じて「かつ」/「または」メニューを設定し、検索条件を詳細に指定します。

4「検索」をクリックして、検索を開始します。

保存した検索方法の使用

Portfolio カatalogのクリエータは、検索条件を今後の使用のために保存することができます。保存した検索方法がカタログに含まれる場合、それらの検索方法を使用してファイルを簡単に検索できます。

保存した検索方法は、「検索」ウインドウの「保存した検索方法」ポップアップメニューに表示されます。保存した検索方法を使用する場合は、メニューからその名前を選択するか、ツールバーの「保存した検索方法」ボタンを使用してポップダウンメニューから「検索」を選択するか、保存した検索方法を「検索方法」パレットでダブルクリックします。

ツールバーから「保存した検索方法」メニューをプルダウンするには、黒い三角形をクリックします



保存した検索方法を使用するには、以下の方法に従ってください。

保存した検索方法をアクティブにするには、いくつかの方法があります。

- 「検索」ウインドウの「保存した検索方法」メニューから「保存した検索方法」を選択する。
- ここに示されているように、ツールバーのポップダウンメニューから「保存した検索方法」を選択する。
- 「検索方法」パレットを開き（「ウインドウ」>「検索方法を表示」を選択）、保存した検索方法の名前をパレットでダブルクリックする。
- 保存した検索方法を「検索方法」パレットで選択した後、「検索」ボタンをクリックするか、パレットのフライアウトメニューから「検索」を選択する。

複数のカタログの検索

Portfolio の最も強力な検索機能の 1 つは、開いている複数のカタログを検索してアイテムを見つけられることです。

Portfolio では、開いているカタログしか検索されません。複数のカタログにわたって検索を実行する場合は、該当するカタログが開いていることを確認してください。

複数のカタログで検索するには、以下の方法に従ってください。

- 1 検索に含めるカタログをすべて開きます。開いているカタログは、「カタログ」パレット、および「検索」ウインドウの「カタログ」タブ（「カタログ」>「検索」を選択）に表示されます。カタログは、開いているからといって検索に含める必要はありません。ただし、閉じているカタログでは検索は行われません。
- 2 「カタログ」パレット、または「検索」ウインドウの「カタログ」タブで、検索に含めるカタログを選択します。カタログ名の左側にある虫眼鏡アイコンは、そのカタログが検索に含まれることを示します。アイコンがない場合は、そのカタログが検索から除外されることを意味します。



虫眼鏡アイコンは、カタログが複数カタログ検索に含まれることを示します。クリアするには、アイコンをクリックします。

- 3 「検索」ウインドウで、「条件」パネルの「複数のカタログを検索」チェックボックスを有効にします。
- 4 「検索」ウインドウで検索パラメータを設定し（標準の単一カタログ検索の場合と同じように）、「検索」をクリックします。
- 5 複数カタログ検索の結果は、「アイテムが見つかりました」（Mac）または「見つかったアイテム」（Windows）という新しいギャラリーウインドウに表示されます。このギャラリーウインドウには複数のカタログからのアイテムが含まれるため、カスタマイズしたり保存することはできません。一時的な「アイテムが見つかりました」（Mac）

ギャラリーウィンドウまたは「見つかったアイテム」(Windows) ギャラリーウィンドウで、見つかったアイテムをプレビューしたり、設定を表示したり、オリジナルファイルを検索することができます。

ファイル内のテキストの検索

「ファイル内のテキストを検索」コマンドを使用すると、アイテムのレコードとは対照的ですが、その他の Portfolio の単語検索とは同様に、カタログ化されたファイルのテキスト内で単語または語句を検索できます。

 Portfolio では、テキストファイルまたは PDF ドキュメント内にあるテキストしかインデックス化されません。

カタログ化されたファイル内でテキストを検索するには

- 1 「カタログ」 > 「その他を検索」 > 「テキスト書類」を選択します。
- 2 検索する単語または語句を「検索する言葉」ボックスに入力します。
- 3 希望の検索条件をポップアップメニューから選択します。「オプション」の各種は、標準の「検索」ダイアログボックスにあるものと同一です。
- 4 「検索」をクリックして、検索を開始します。

検索条件オプション

「検索」コマンドの使用時に利用可能

検索オプション... 検索対象...

カタログ登録日	アイテムが Portfolio で最初にカタログ化された日付と時刻
カラーモード	カラーモード: 不明、モノクロ、グレースケール、RGB、CMYK、YUV、Labおよび YCCK
ファイル作成日	オリジナルファイルが作成された日付
ファイル拡張子 (Win)	アイテムのファイル拡張子を示す 3 文字
説明	説明アイテムのファイルの説明
ファイルサイズ	アイテムのファイルサイズ
ファイル名	アイテムの名前
高さ	アイテムの高さをピクセル単位で示したもの (サムネールが抽出された場合は空白)
幅	アイテムの幅をピクセル単位で示したもの (サムネールが抽出された場合は空白)
水平解像度	アイテムの水平解像度を dpi で示したもの
垂直解像度	アイテムの垂直解像度を dpi で示したもの
キーワード	アイテムに割り当てられた任意のキーワード
ファイル修正日	オリジナルファイルが最後に修正された日付
最終更新日	カタログでアイテムが最後に更新された日付
クリエイター (Mac)	アイテムの 4 文字のファイルクリエイターコード (Windows でカタログ化された場合は空白)
ファイルタイプ (Mac)	アイテムの 4 文字のファイルタイプコード (Windows でカタログ化された場合は空白)
AppleTalk ゾーン	アイテムのファイルが存在する AppleTalk ゾーン (Windows でカタログ化された場合は空白)
パス (保存場所)	ファイル名を含む、アイテムのファイルパス (保存場所)
ショートファイル名 (Win)	16 ビット DOS パスとファイル名



すべてのフィールドは、より高速に検索するためにインデックス化されます。

検索条件オプション (続き)

「検索」コマンドの使用時に利用可能

検索オプション... 検索対象...

サムネールのサイズ	アイテムのサムネールのサイズをピクセル単位で示したもの:32 (アイコン)、64、112、256。(このフィールドは、前のバージョンの Portfolio から変換されたカタログでは空になります)
ページ数	特定のページ数に一致するアイテム
仮レコード	仮レコードとして作成されたアイテム
透かし付き	示された透かし付きのアイテム
透かし付き URL	示された透かし付き URL のアイテム
カスタムフィールド	現在のカタログに対して作成されているカスタムフィールド
ボリューム名	アイテムが常駐する物理ドライブまたはディスク
ディレクトリパス	ファイル名を含まない、アイテムの完全なディレクトリパス



すべてのフィールドは、より高速に検索するためにインデックス化されます。

レコードの並べ替え

Portfolio カタログのコンテンツは、ほとんどのフィールド（存在する可能性のあるカスタムフィールドを含む）を基準にして並べ替えることができます。ファイル名、サイズ、カラーモード、ファイルタイプ、またはその他の条件でアイテムを並べ替えると、ファイルのコレクションを簡単にブラウザしたり整理できるようになります。

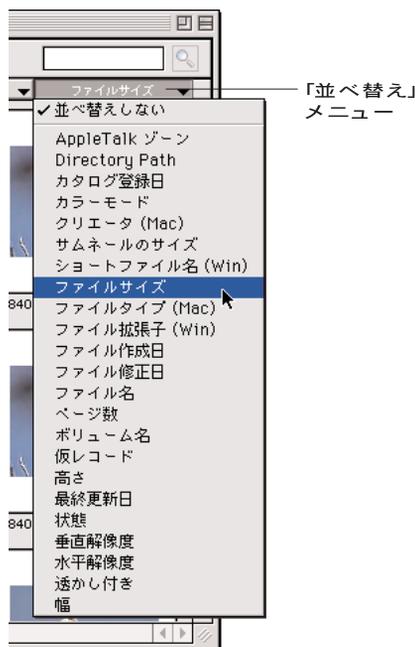


また、サムネールを希望の位置にドラッグするだけで、カタログ内のアイテムをカスタム順番で並べ替えることもできます。ドラッグアンドドロップによる並べ替えは、大量のファイルを正確な順番で配置する場合は実用的ではありませんが、少数のアイテムを希望の順番で再整列するだけの場合は、役に立つ場合があります。

ギャラリーウィンドウの並べ替え

ファイルを並べ替えるには、ステータスバーの右上角にある「並べ替え」メニューを使用します。ステータスバーは、各ギャラリーウィンドウの上部（メインツールバーの真下）に水平に配置されています。デフォルトでは、このメニューには「並べ替えしない」と表示されています。このメニューの条件の中からいずれかを選択して、現在のギャラリーウィンドウに並べ替えの順番を適用します。デフォルトでは、ギャラリーウィンドウは、アイテムがカタログ化された順番で常に並べ替えられます。

「並べ替え」メニューを使用してギャラリーを並べ替えた後も、現在の並べ替えフィールドはメニューに表示されたままなので、ギャラリーウィンドウの並べ替えの基準が一目でわかります。



ギャラリーウィンドウの整理

Portfolio でファイルを並べ替え、グループ化、および整理するのに便利なもう 1 つのツールとして、複数のギャラリーウィンドウの作成が挙げられます。これにより、カタログに含まれるアイテムの異なるグループを個々のウィンドウに表示できます。各ギャラリーウィンドウには、独自のスタイルと並べ替えの順番を設定できます。

新しいギャラリーウィンドウを開く

デフォルトでは、カタログ化されたすべてのアイテムを表示する単一ウィンドウであるギャラリーウィンドウが 1 つだけ Portfolio に含まれます。ただし、いつでも追加のギャラリー（ウィンドウ）を開いて、それらに表示するアイテムを正確に選択す

ることができます。たとえば、5000個の画像を含む大きなカタログがあると、特定のプロジェクトに使用することを計画している20個の画像だけが1つのウィンドウに含まれるようにしたいとします。この場合、選択した20個のアイテムを表示する新しいギャラリーウィンドウを作成することができます。



複数のギャラリーウィンドウを作成しても、カタログ内のアイテム数には影響を与えません。つまり、ギャラリーウィンドウは、同じカタログ内にある単に異なるウィンドウとなります。

新しいギャラリーウィンドウを開くには1「ギャラリーウィンドウ」>「新規」を選択するか、⌘-G (Mac) または Ctrl-G (Windows) を押します。

ギャラリーウィンドウパレットが表示されている場合は(「ウィンドウ」>「ギャラリーウィンドウを表示」を選択)、「新規」ボタンをクリックするか、パレットのフライアウトメニューから「新規」を作成することもできます。空の「名称未設定」ギャラリーウィンドウが開きます。

2 含めたいアイテムがギャラリーウィンドウを埋めます。これを行うには、いくつかの方法があります。

- 「カタログ」>「すべてを検索」を選択して、新しいウィンドウに、カタログ化したすべてのアイテムを表示する。
- 別のギャラリーウィンドウから新しいギャラリーウィンドウにサムネールをドラッグする。
- 「編集」メニューの「コピー」コマンドと「ペースト」コマンドを使用して、別のギャラリーウィンドウから新しいギャラリーウィンドウにサムネールをコピーしてペーストする。
- 「編集」メニューの「カット」コマンドと「ペースト」コマンドを使用して、1つのギャラリーウィンドウからアイテムをカットして新しいギャラリーウィンドウに移動する。ギャラリーウィンドウからアイテムをカットしても、現在のウィンドウから移動

されるだけで、そのアイテムはカタログから削除されません。

- 選択したセットのレコード(特定のキーワードを含むレコードなど)を検索する。

電子メールでのファイルの送信

Portfolio ブラウザを使用すると、コンピュータの電子メールプログラムに直接接続することにより、画像やその他のデジタルメディアファイルを Portfolio カatalog内からほかのユーザーに電子メールで送信することができます。これは、画像を送信するために電子メールプログラムを手動で起動して添付しなくても、画像を配布したり、その証明を送信できる便利な方法です。

Portfolio からファイルを電子メールで送信するには、以下の方法に従ってください。

- 1 現在のギャラリーウィンドウから送信するアイテム(1つまたは複数)を選択します。
- 2 ツールバーの「電子メール」ボタンをクリックします。

Portfolio では、システムのデフォルトの電子メールプログラムが起動され、新規電子メールメッセージが作成された後、選択したファイルが添付ファイルとして追加されます。

- 3 通常どおり、電子メールのアドレスを指定し、件名と本文を入力します。



Portfolio 内から電子メールに添付できるアイテムのサイズや数には基本的に制限はありませんが、ご使用の電子メールクライアントソフトウェア、ネットワーク電子メールサーバー、およびインターネットサービスプロバイダによっては、添付ファイルのサイズに制限が設定されている場合があります。添付ファイルが非常に大きい場合、Portfolio の「収集」コマンドを使用してファイルを収集した後、FTPを使用してインターネット上で転送する方が望ましいことがあります。



Macintosh では、インターネットコントロールパネルを使用して、Portfolio によって起動されるデフォルトの電子メールプログラムを変更できます。これは、コントロールパネルの「電子メール」タブに進み、パネルの下部にある「デフォルト電子メールアプリケーション」ポップアップメニューからプログラムを選択して行います。

スライドショー

Portfolio の「スライドショー」機能を使用すると、指定した間隔で画像が進められる自動的に実行できるスライドショーや、手動で画像を進めるスライドショーをカタログ画像（サムネイルではありません）から作成できます。また、ほかのユーザーにスライドショーを配布できるよう、スタンドアロンの QuickTime ムービーとしてスライドショーを保存することもできます。

Portfolio では、アクティブなギャラリーウインドウの画像がスライドショーに対して使用されます。画面は空白になり、画像は、現在のギャラリービューの背景色に対比して表示されます。画像は、その実際の画像サイズで表示したり、できるだけ表示画面に合わせてサイズ変更されるよう設定できます。画面に対してアイテムが大きすぎる場合は、自動的にサイズが縮小されます。

スライドショーを設定するには

1 「表示」 > 「スライドショーのオプション」を選択します。

2 「スライドショーのオプション」ダイアログボックスの「スライドの切り替え」セクションで、「手動で操作」または「時間で自動切り替え」を選択します。手動で操作するスライドショーでは、矢印キー、または画面に表示された VCR のようなスライドショーコントロールを使用して画像を進めます。一定時間で自動的に切り替わるショーでは、スライドは自動的に進みます。次のスライドに自動的に切り替わるまでの時間は、最高 99 秒までに設定できます。

3 表示サイズを選択します。「等倍表示」では、ソースファイル画像の実際のサイズで画像が表示されます。「画面に合わせて表示」では、表示画面に合わせて画像のサイズが Portfolio によって変更されるようになります。いずれの場合も、画像が大きすぎる場合は、画面に合わせて表示されるようサイズが縮小されます。

4 その他のスライドショーのオプションを設定します。自動実行スライドショーを作成し、連続して再生されるようにする場合は、「連続再生」チェックボックスをオンにします。ファイル名や、カスタムフィールドに保存されたキャプションなどのフィールドを、スライドショーの画面で表示するには、「表示するフィールド」チェックボックスをオンにして、ポップアップメニューからフィールドを選択します。スライドショーを実行する際、フィールドテキストは、画面の下部に沿って、画像の下に（現在のギャラリーウインドウで使用されているフォントで）表示されます。

5 すべての設定を調整したら、「OK」をクリックします。これで、スライドショーを実行する準備が整います。

スライドショーを実行するには、以下の方法に従ってください。

1 スライドショーに表示するアイテムのあるギャラリーウインドウを設定し、表示したい順番でアイテムをドラッグします。



スライドショーには、静止画像、3D 画像、ムービー、およびサウンドを含めることができます。Portfolio でプレビューできるものは、すべてスライドショーで表示できます。

2 「表示」 > 「スライドショー」を選択するか、⌘-; (Mac) または Ctrl-; (Windows) を押します。

3 スライドショーを手動で実行するには、コントロールの矢印をクリックして、次または前のアイテムに移動します。または、Page Up および Page Down キーを押して、ショーを進めることもできます。ショーの

最初または最後に移動するには、最初または最後の矢印をクリックします。

4 一定時間で自動的に切り替わるスライドショーは自動的に始まりますが、ミニコントローラの「一時停止」ボタンを使用して、プレゼンテーションを停止または開始したり、再開することができます。



オリジナルをコピー

コントローラにあるその他の編集ボタン（「名前を変更」など）は、Portfolio ブラウザの使用時にアクティブではありません。

スライドショーが「連続再生」に設定されていない場合は、最後のアイテムが表示されるとスライドショーは終了します。

5 スライドショーを停止してギャラリーウインドウに戻るには、コントローラの「停止」ボタンをクリックするか、キーボードの Esc キーを押します。



 スライドが自動的に切り替わるまでの間隔を設定する場合、画像は、指定した期間が経過すると読み込みが開始されるので、大きな画像を読み込むには数秒かかる可能性があることを考慮してください。

DigiMarc 透かしの使用

Digimarc 透かしは、画像ファイルに入れている目に見えない特殊な形態の埋め込み情報で、通常は、画像の著作権と認められた使用権に関するものです。この透かしは、Portfolio で直接検出、表示、および埋め込みできます。

「Digimarc ID の読み込み」コマンドを使用すると、ファイルに Digimarc 透かしがあるかどうかを Portfolio で調べさせ、その透かし

に関する情報を表示させることができます。Portfolio によって Digimarc 情報が表示されたら、ボタンをクリックして Digimarc の Web サイトに直接アクセスし、その透かしのクリエイタに関する詳細を取得できます。

 Portfolio では、追加のチャンネルが含まれていない TIFF ファイルおよび JPEG ファイルの透かしだけが検出されます。

Digimarc 透かしデータの読み込み

透かしの読み込みとは、透かしに含まれている特定の著作権、クリエイタ、および URL 情報を抽出して表示する処理のことです。透かしデータを読み込むには、以下の方法に従ってください。

- 1 透かし情報を表示するアイテムを選択します。
- 2 「アイテム」 > 「Digimarc ID の読み込み」を選択します。

「Digimarc ID の読み込み」コマンドを使用するときに単一のギャラリーウインドウアイテムが選択されている場合、Portfolio では、透かし情報が表示されるだけでなく、アイテムレコードにその透かし情報が記録されます。

複数のアイテムが選択されている場合は、Portfolio によって各アイテムのレコードにそのデータが記録され、スキャンされたソースファイルの数と、透かしデータが埋め込まれていることが検出されたアイテムの数を含む結果の要約が表示されます。

Digimarc 透かし URL の表示:

ほとんどの透かしには、Digimarc の Web サイトへの URL リンクが含まれています。この Web サイトからは、透かしのクリエイタに関するさらに詳しい情報を取得できる場合があります。この URL を Portfolio で表示するには、「透かしの URL」フィールドが表示されるフィールドの 1 つになるよう、ギャラリービューをカスタマイズします。特定のフィールドを含むようビューをカスタマイズする場合の詳細については、Portfolio 6.0J ユーザーマニュアルを参照してください。



Extensis, Inc.

1800 SW First Avenue, Suite 500
Portland, OR 97201, USA

電話: +1 (503) 274-2020
ファックス: +1 (503) 274-0530
電子メール: info@extensis.com
インターネット: <http://www.extensis.com>

Extensis Europe

First Floor Century House
The Lakes, Northampton NN4 7SJ
United Kingdom

電話: +44 (0)16 04 636300
ファックス: +44 (0)16 04 636366
電子メール: info@extensis.co.uk

カスタマーサービス

電話: +1 (503) 274-2020
電子メール: sales@extensis.com

テクニカルサポート

Web:

<http://www.extensis.com/support/>

電話: +1 (503) 274-7030
月曜日から金曜日
午前 8 時 ~ 午後 5 時
(太平洋標準時間)

© 2002 Extensis, Inc.本マニュアルおよびここに記載のソフトウェアは、不許複製です。著作権法のもと、本マニュアルおよび本ソフトウェアのいずれも、Extensis Inc.の書面による同意なしには、通常のソフトウェアの使用と本ソフトウェアのバックアップ作成の場合を除いて、その全体または部分を複製してはなりません。この例外規定によっても、他人のために複製を作成することは許可されていません。

Extensis, Inc., Extensis, Extensis ロゴ、および Extensis ライブラリは、Extensis, Inc.の商標です。PostScript は Adobe Systems, Incorporated の商標です。AppleScript, Macintosh, PowerPC, AppleScript, FontSync, および QuickDraw は、Apple Computer, Inc. の登録商標です。FontBook は 2000 Lemke Software の商標です。Netscape および Navigator は、Netscape Communications の登録商標です。Microsoft および Internet Explorer は、Microsoft Corporation の登録商標です。Symantec および Suitcase は、Symantec Corporation の商標です。Quark および Quark XPress は Quark, Inc. の登録商標です。Xtensions は同社の商標です。その他の商標および登録商標は、それぞれの所有者が所有しています。

Extensis Inc. は、ソフトウェアが記録されているディスクの初期不良および通常の使用における欠陥に対して、購入日から起算して 90 日間保証します。購入日より 90 日以内にディスクに問題が発見された場合には、無料交換のサービスを受けるため、正規代理店に発送してください。ただし、このサービスを受ける前に必ずユーザー登録が完了している必要があります。この保証は交換を目的とするものであり、その他の損害（ソフトウェアを使用できないことによる営業的な損失、雑費、およびこれらに類似した損失）は含まれていません。本ソフトウェアは「現状有姿」で提供されます。Extensis Inc. は、上に明示した保証にのみ対応します。明示、黙示に関わらずその他の保証（ソフトウェアの品質、性能、商業性、または特定の目的における適合性）はいたしかねます。

Quark, Inc. は、明示、黙示に関わらず保証（同梱のコンピュータソフトウェアパッケージ、商業性、または特定の目的における適合性）はいたしかねます。Quark, Inc. は Quark, Inc. ソフトウェアの代理店および小売店に対してとどまらず、いかなる保証も致しかねます。上述に述べた事項にとどまらず、いかなる状況においても、Quark, Inc. は同梱のソフトウェアの使用に関連して、あるいは使用の結果、発生するいかなる特殊、間接的、偶発的、結果的な損傷にも責任を負いかねます。Quark, Inc. の責任はいかなる場合においても、同梱のソフトウェアの使用に対してお客様が実際に支払われた購入価格/ライセンスの合計金額を超えることはありません。